

- (4) 輸出の拡大などグローバルな「食市場」の獲得
国別・品目別輸出戦略の構築、食文化・食品産業のグローバル展開の促進等
- (5) 経営所得安定対策・日本型直接支払
経営所得安定対策の見直し、多面的機能に着目した直接支払制度の検討
- (6) 品目別生産振興対策
野菜、果樹、茶、畜産などの品目ごとの生産振興対策の実施
- (7) 活力ある農山漁村の構築、食の安全・消費者の信頼確保
都市と農山漁村の共生・対流、都市農業の推進、農村景観や資源の保全・継承等

◇ **新たな直接支払制度（日本型直接支払制度）とは…**

農水省からは具体的な情報はないが、自民党の内部情報には以下のような記事が掲載されている。

- ・ 米に特化した「戸別所得補償制度」を見直し、国土保全や水源涵養、集落機能など、農業・農村が果たしている多面的機能を維持することに対して、直接支払いを行うための法制化を進める。農地を農地として維持するためのコストに着目し、水田のみならず畑地や樹園地、草地も含め、地目別に精細な調査を実施し制度に反映させる。
- ・ そのため、農地基本台帳を整備し、現に農地として利用されているか否かを確認するための基礎資料として活用する。
- ・ 「中山間地域等直接支払い」「農地・水保全管理支払い」「環境支払い」を含めて法制化し、農地維持支払いの加算措置として充実・強化を図る。

◇ **多面的機能直接支払いに適した農地基本台帳システム及び地図システムに求められる機能**

「多面的機能直接支払い」とは、新たな直接支払制度、日本型直接支払制度とも言われており、国が農地を農地として維持するための支援策として検討中の制度です。法定化される見込みの農地基本台帳を基に支払われる可能性が高いと思われます。

よって、農業委員会では、農地基本台帳等のシステムについて、農林水産省が求めている機能の有無の確認と対応が必要と思われます。（次頁参照）

多面的機能直接支払いに適した農地基本台帳システム及び地図システムに求められる機能

平成 25 年 8 月
静岡県農業会議

| 農林水産省が求めている機能 | | 例示 |
|-------------------------|---|--|
| 1 農地基本台帳システムに最低限求められる機能 | | |
| ① | 名寄せ等のためのコードの追加が容易であること | 地域特産の作物名やコード番号の追加ができ、追加した作物別等で集計ができる。 |
| ② | 集計可能な項目の追加がなるべく多くできること | 台帳に新規に項目が追加でき、追加した項目別にも集計ができる。 |
| ③ | CSV 形式でのデータ出力などにより、エクセル等の表計算ソフト等と親和性が高いこと | データ保存形式が CSV 形式だと汎用性が高く、異なるソフト間でもデータの交換や利用ができる。 |
| ④ | 一筆の一部を使用賃借している場合などに対応できるよう、内地番管理が可能なこと | 台帳が「地番－枝番－内地番」で管理できる。 |
| ⑤ | 地番のない河川敷等における耕作状況を集計管理できるよう、仮地番によるデータ管理が可能であること | 台帳が「大字河川敷－仮地番」で管理できる。 |
| ⑥ | 農地面積や権利関係等の必要項目の履歴管理ができること | 地番別に合筆、貸借権設定等の履歴がわかる。 |
| 2 地図システムに最低限求められる機能 | | |
| ① | 農地基本台帳システムとの相互検索が可能であること | 画面で地番図を選択すると、ボタン一つで農地基本台帳システムの画面が出る。農地基本台帳システムで地番を選択すると、地番図が表示される。 |
| ② | 所有者別、耕作者別、年齢別、権利関係別など、台帳項目による表示機能が充実していること | 農地基本台帳で管理している情報を、地番図に表示できる。地番図が権利関係別に色分けできる。 |
| ③ | 内地番管理や仮地番管理に対応したポリゴン作成が可能であり、できればポリゴン作成時に面積計算が可能であること | 新たに農地基本台帳で管理する内地番等の箇所の輪郭が図示でき、図示した部分の面積の計算もできる。 |
| ④ | 公図の更新等を行った場合であっても、上記③で作成したポリゴン及びデータを保存・利用可能であること | 公図が差し替わっても、③で作成した図面やデータが利用できる。 |

II 組織の動き (H25.7~H25.8)

◆ 7月の常任会議員会議

県農業会議は7月22日、静岡市葵区追手町の静岡中央ビルで定例の常任会議員会議を開いた。議事等の内容は次のとおりで、下表の農地法に基づく諮問案件について許可相当として答申した。

[議事]

□ 農地法に基づく知事諮問

| 区 分 | 農 地 法 | | | |
|-------|-------|-------------------|------|-------------------|
| | 4 条 | | 5 条 | |
| | 諮問件数 | 面積 m ² | 諮問件数 | 面積 m ² |
| 静 岡 県 | 3 | 526 | 48 | 29,507 |
| 三 島 市 | 1 | 993 | 2 | 605 |
| 沼 津 市 | 1 | 261 | 0 | 0 |
| 富 士 市 | 2 | 899 | 4 | 9,122 |
| 富士宮市 | 1 | 472 | 2 | 325 |
| 静 岡 市 | 3 | 208 | 11 | 6,210 |
| 島 田 市 | 1 | 75 | 13 | 13,423 |
| 焼 津 市 | 3 | 560 | 7 | 3,553 |
| 藤 枝 市 | 0 | 0 | 1 | 649 |
| 掛 川 市 | 6 | 2,454 | 22 | 8,565 |
| 磐 田 市 | 2 | 343 | 18 | 15,534 |
| 浜 松 市 | 17 | 4,738 | 85 | 30,722 |
| 袋 井 市 | 3 | 526 | 16 | 5,311 |
| 牧之原市 | 1 | 955 | 6 | 1,806 |
| 菊 川 市 | 1 | 196 | 7 | 5,070 |
| 計 | 45 | 13,206 | 242 | 130,402 |

| 転用用途別の主なもの | | | | | |
|-------------------|----|---------------------|----|--------------------|----|
| 面積 m ² | % | 面積 m ² | % | 面積 m ² | % |
| 住 宅 | | 他施設用 (駐車場、資材置場等) | | 他建設用 (店舗、一般倉庫等) | |
| 47,390 | 33 | 37,209 | 26 | 26,850 | 19 |

[農政懇談]

(公社) 静岡県農業振興公社の 平野 経営支援課長から、「県農地中間管理機構 (仮称)」について説明をいただき意見交換を行った。

◇農地基本台帳の整備・活用状況等に関する巡回について

県農業会議が県農業振興課及び県農業振興公社と連携して7月25日から実施している標記巡回について、現在21市町で巡回を行った。農業委員会会長、事務局長、担当者の参加のもと、政府が進めている「日本型直接支払」や「県農地中間管理機構（仮）」へ向けての農地基本台帳の整備状況などを確認するとともに意見交換を行っている。今後は残り14市町を9月6日までに巡回する。



静岡市での様子

県農業会議では、全市町の巡回終了後に、巡回の結果を基に農業委員会の職員等を対象として、農地基本台帳に関する実務研究会などを開く予定としている。

◇ T P P 情報交換会開かれる

T P P 交渉に反対・慎重の立場をとる関係団体による情報交換会が7月29日、静岡市駿河区の農業会館で開かれ、本会事務局長が出席した。

J A 静岡中央会の主催によるこの会合には、県医師連盟、県歯科医師連盟などの医療関係団体、県消費者団体連盟などの消費者団体をはじめ、建設、農林漁業団体など18団体から21人が参加、各団体からT P P 関連対策への取組を報告した。J A 静岡中央会からは8月9日に開く情勢報告会の開催内容と参加の呼びかけがあった。

◇ T P P 交渉情勢報告会開かれる

静岡県農業協同組合中央会の主導によるみだしの報告会が8月9日、静岡市内で開かれた。上記の情報交換会に出席した関係団体をはじめ、国会議員、県議など約300人が参加、本会からは、小楠農政委員長、海野農地委員長、相澤農地副委員長、塚本事務局長が参加した。

報告会では、静岡大学名誉教授の土居英二氏が、T P P の静岡県への影響試算について「関税が撤廃されると県内産業の生産額は、農林水産業で642億円減、2次・3次産業で3111億円減る。4万人余の雇用が失われる」と力説した。

続いて、日本農業新聞編集局農政経済部次長の藤井康義氏が、交渉会合の内容と今後の行方について、衆議院議員の上川陽子氏が、自民党の対応などについて説明した。

◇ 南伊豆町新任農業委員研修会開く

南伊豆町農業委員会は8月2日、任期満了に伴う改選により新たに就任した農業委員を対象に、標記研修会を役場議場で開いた。

新任農業委員等18人が参加、本会職員が、「農業委員会制度の概要と農業委員の役割」について説明した。

◇ 県農業会議第113回通常総会開く

県農業会議は8月22日、標記総会を静岡市のクーポール会館で開いた。

黒田会長挨拶の後、来賓として大谷県経済産業部理事及び県議会竹内産業委員会委員長から祝辞をいただいた。

黒田会長を議長に総会議事進行が行われ、平成24年度事業報告及び収支決算などの上程議案がすべて原案どおり承認された。



会場の様子



左から黒田会長、大谷県経済産業部理事、竹内県議会産業委員会委員長

また、総会終了後の研修会では、全国農業会議所の稲垣農政・企画部長から「農地中間管理機構（仮称）」に対する農業委員会の対応などについて最近の情勢を交え説明いただき、意見交換を行った。

同部長は、「現在の農林水産省の検討案では、市町村、農業委員会の位置づけが明確でないので、全国農業会議所としては、現場に即した制度となるよう、引き続き農水省に働きかける。中間管理機構、日本型支払いには法定化が予定される農地基本台帳のデータを利用する公算が高いので、精度向上に向けて農業委員会は早急な対応が必要」など話した。



稲垣農政・企画部長

Ⅲ 農業者年金のページ

加入者累計13万人に向けた前期3カ年運動」展開中

～ 本県における農業者年金の加入推進について ～

● 新規加入者の状況（8月（暫定））（人）

| 8月 | | |
|------|--------|------------|
| 市 町 | 新規加入者数 | うち 20～39 歳 |
| 伊豆市 | 2 | 0 |
| 富士宮市 | 1 | 0 |
| 御前崎市 | 1 | 0 |
| 浜松市 | 2 | 2 |
| 合 計 | 6 | 2 |

8月（暫定）の新規加入者は6人（うち20～39歳は2人）となり、4月から8月（暫定）の新規加入者数は24人（うち20～39歳は15人）となっています。（次頁参照）

● 農業委員会と県農業会議の戸別訪問

農業委員会と県農業会議が連携する戸別訪問を7月から実施しています。7月は静岡市、三島市で実施しました。ご協力いただきありがとうございました。今後実施する市町についても対象者の選定等よろしくお願ひします。

農業者年金制度を周知するには、戸別訪問が効果的です。戸別訪問を行いますと制度を知らない方もいますので、制度を「知らなかった」ということがないように戸別訪問の実施をお願いします。

戸別訪問は、1回訪問し、その後何度も足を運ぶことで未加入者の意向がわかってきますので、再訪問をよろしくお願ひします。

平成25年度農業者年金市町別新規加入者の状況

平成25年8月1日現在
静岡県農業会議

| 区分 | 平成25年度 | | | | | | | 計 | 達成率 (%) | 目標達成 |
|-------|--------|----|----|----|----|--------------|----|-------|------------|------|
| | 目標数 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月(暫定) ※1 | | | | |
| 静岡市 | 13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 浜松市 | 23 | 1 | 1 | 1 | 3 | 2 | 8 | 34.8 | | |
| 本局 | 8 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 12.5 | | |
| 浜北分室 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 33.3 | | |
| 北区分室 | 12 | 1 | 0 | 0 | 3 | 2 | 6 | 50.0 | | |
| 沼津市 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 熱海市 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 三島市 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 富士宮市 | 4 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 50.0 | | |
| 伊東市 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 島田市 | 9 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 33.3 | | |
| 富士市 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 磐田市 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 焼津市 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 掛川市 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 藤枝市 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 御殿場市 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 袋井市 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 20.0 | | |
| 下田市 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 裾野市 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 湖西市 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 33.3 | | |
| 伊豆市 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 200.0 | ○ | |
| 御前崎市 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 100.0 | ○ | |
| 菊川市 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 伊豆の国市 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 100.0 | ○ | |
| 牧之原市 | 11 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 9.1 | | |
| 東伊豆町 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 河津町 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 南伊豆町 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 松崎町 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 西伊豆町 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 函南町 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 100.0 | ○ | |
| 清水町 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 長泉町 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 小山町 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 吉田町 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 川根本町 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 森町 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 合計 | 130 | 6 | 6 | 2 | 4 | 6 | 24 | 18.5 | | |

※1 8月(暫定) … 7月末日現在の加入申込書の農業者年金基金が受付した分

IV 情報のページ



◆◆ 全国農業図書刊行案内 ◆◆

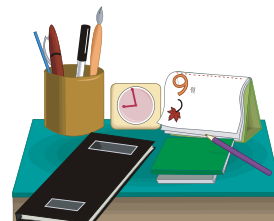
| 図 書 名 | コード 番 号 | 仕様等 | 定価 |
|--|------------|----------|---------|
| 2013 版 日本農業技術検定 過去問題集 3 級 | 25-01 | 133、64 頁 | 1,000 円 |
| 2013 版 日本農業技術検定 過去問題集 2 級 | 25-02 | 279、88 頁 | 2,000 円 |
| 改訂 農業経営基盤強化促進法 一問一答集 | 25-03 | 265 頁 | 2,000 円 |
| 相続などによって農地の権利を取得したときは・・・ 「農業委員会への届出」が必要です！！ | 25-04 | 2 頁 | 20 円 |
| 再生しよう！遊休農地 豊かな農地を次世代へ | 25-05 | 4 頁 | 45 円 |
| 農地を転用するときは農地法の許可 が必要です | 25-06 | 4 頁 | 45 円 |
| 2013 年度版 農業者年金リーフレット | 25-07 | 4 頁 | 45 円 |
| 2013 年度版 農業者年金 一年金の仕組みと政策支援— | 25-08 | 8 頁 | 90 円 |
| 改訂版 農業者年金加入推進携帯パンフレット | 25-09 | 12 頁 | 100 円 |
| 農地の貸し借りをすすめましょう！ | 25-11 | 6 頁 | 70 円 |
| 耕作放棄地解消活動事例集 Vol. 5 | 25-12 | 32 頁 | 500 円 |
| 「わかる」から「できる」へ 複式農業簿記実践テキスト | 25-19 | 122 頁 | 1,600 円 |
| 記帳感覚が身につく 複式農業簿記実践演習帳 | 25-20 | 28 頁 | 400 円 |
| 農業委員研修テキスト 農業委員会制度 | 25-21 | 24 頁 | 300 円 |
| 2013 年度版 地域農業の担い手「認定農業者」 | 25-22 | 6 頁 | 70 円 |
| 改訂 地域農業の発展のために 人・農地プランを作成しよう | 25-23 | 16 頁 | 100 円 |
| 平成 25 年度版 農家相談の手引 | 25-24 | 112 頁 | 800 円 |

◆◆ 全国農業新聞 ◆◆

平成 25 年 10 月号の申込・中止・変更の締切は、
平成 25 年 9 月 17 日（火）となりますのでよろしくお願いいたします。



V 今後の日程 (平成25年8月~10月)



- 8月26日 農業者年金個別相談会 (藤枝市)
26日 市町農業委員会巡回 (浜松市、湖西市)
28日 市町農業委員会巡回 (掛川市、菊川市、御前崎市)
29日 市町農業委員会巡回 (焼津市、藤枝市、島田市)
30日 農業者年金加入推進特別研修会
(掛川市・掛川グランドホテル)
- 9月2日 農業者年金個別相談会 (富士宮市)
5日 市町農業委員会巡回 (西伊豆町、松崎町、南伊豆町)
6日 市町農業委員会巡回 (下田市、河津町、東伊豆町)
9日 要望検討委員会 (静岡市・静岡中央ビル)
9日 農業者年金個別相談会 (菊川市)
12日 県農業委員会職員協議会農政要望研究会
(静岡市・県農業振興公社会議室)
- 19日 農業者年金個別相談会 (河津町)
20日 農政委員会 (午前：静岡市・静岡中央ビル)
20日 常任会議員会議 (午後：静岡市・静岡中央ビル)
24日 農業者年金個別相談会 (島田市)
30日 農業者年金個別相談会 (清水町)
- 10月3-4日 中日本ブロック農業委員会職員現地研究会
(兵庫県神戸市・ホテル北野プラザ六甲荘)

発行 / 静岡県農業会議

静岡市葵区追手町9-18 静岡中央ビル7F

tel 054-255-7934

fax 054-273-4314

残暑おみまい
申し送り